

人 チーム 制度



## “次世代大学”の導入

国際航業（株）人材開発部

今回ご紹介するのは、国際航業（株）で2012年から開校している社内次世代大学について、聞いてみました。

### “次世代大学”の内容を簡単に教えて下さい。

開講日は、基本的には水曜17時半から2時間、社員に身につけてもらいたいスキルや知識に関するプログラムを提供しています。それぞれの講義は、基本的に自由参加とし、学びたい人が学びたいときに参加していただけるシステムとなっています。

### “次世代大学”が始まったきっかけは？



次世代大学を開校した年は、団塊の世代が定年退職に向かえ、世の中でも2012年度問題と大きく取り上げられていた年で、弊社も例外なく、建設コンサルタントとして活躍されてきた方が定年を迎えていく時期でした。その中で、経験豊富な先輩から次世代への技術伝承が課題のひとつであり、社内大学開設のきっかけとなりました。

次世代大学は、「次世代への技術の伝承」を第一目的として、先達の考え方や経験を今までになかった形で、コンパクトにまとめて学ぶことができる機会を提供する場としています。

### プロフィール

- 2011年まで 各地域・部門で勉強会など自主開催
- 2011年 運営体制の構築、講座検討、開講地区の検討、開講名称の検討
- 2012年 次世代大学開校
- 2017年 現在に至る

### 運営上、大変だったことは？

大変なことは“継続”です。開校した当初は、社員からの関心も高く、受講者も多かったのですが、毎年同じカリキュラムでは、新しい人が入社しているとは言っても参加者は減少していきます。毎年、社員に身につけてもらいたいスキルや知識を押さえながら新しい講義を模索し提供していくこと、自由参加がために人気講義とそうでない講義がはっきりしており、講義内容の検討・魅力の伝え方など工夫していくことが、3年目くらいから課題となってきました。社外講師を招いた特別講演などバラエティーに富んだプログラムとなるよう工夫しています。

また、ある程度大きな拠点での開催に偏る講義もあり、開講のない拠点へは中継、ビデオ放映など、全社員が受講できる仕組みを工夫しています。



### どのような講義を開講していますか？

基礎技術スキルとして、統計学、数学、画像処理基礎、システム開発の手順、プログラミング、計測技術、地表変位抽出技術など、その部門では基礎となる技術を学習できる内容としています。ほか一般スキルとして、アカウンティング、ファイナンス、ダイバシティマネジメント、ビジネス法務、財務分析など、技術者にとっては日常業務で関わらない知識や技術を中心にプログラム提供しています。最近ではドローン・UAVの基礎技術と安全運航管理、電気の基礎知識、また市場をテーマにしたプログラムを提供していきます。

### 今後の展望を教えてください。

次世代大学の継続は、運営は社内には様々な部門・要素技術がありますので、他部門の技術や知識を交流させていきたいと思っています。

